**令和５年度　事前評価調書**

１ 事業概要

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事業名 | 都市計画道路　豊中岸部線　（岸部北工区）　街路事業 | |
| 担当部署 | 都市整備部 道路室 道路整備課 建設グループ（連絡先06－6944－9276） | |
| 事業箇所 | 吹田市五月が丘東～岸部北３丁目 | |
| 事業目的 | 本路線は、国道423号（新御堂筋）及び府道大阪高槻京都線、都市計画道路十三高槻線を結ぶ北摂地域の重要な幹線道路である。  本事業は、現在事業中の豊中岸部線（岸部南工区）と併せて未整備区間を整備することにより、慢性的な北摂地域の交通渋滞の解消を目的とする。  また、広域緊急交通路に指定されている国道423号（新御堂筋）及び府道大阪高槻京都線、指定予定である都市計画道路十三高槻線を接続することにより、広域的な道路ネットワークの形成及び防災機能の強化を図るものである。 | |
| 事業内容 | 道路築造  事業延長：約0.9km  道路幅員：22.0m～34.0m  車道：4車線〔3.25m×4〕、自転車通行帯：両側〔1.0m×2〕  歩道：両側〔2.5m×2〕  高速道路立体交差　１箇所 | |
| 事業費 | 全体事業費：約181.6億円〔国：約99.9億円、府：約81.7億円〕  （内訳）調査費等　約 5.5億円  用地費　　約 44.9億円（うち補償費約20.9億円）  　　　　　工事費　　約 131.2億円 | |
| 【事業費の積算根拠】  ・予備設計成果を基に概算事業費を算出  ・用地取得にかかる物件補償費は、概算額から算出 | 【工事費の内訳】  ・街路築造工　 約 48.9億円  ・電線共同溝　 　　　　 約 6.3億円  ・函渠工（高速道路交差部） 約 76.0億円 |
| 事業費の変動要因 | ・用地取得に係る物件補償の算定については、概算額で計上していること、また支障物件数が多いことから、物件調査の結果次第で事業費が増減する可能性がある。  ・工事費については概算額で計上しており、今後、詳細設計により変動する可能性がある。 | |
| 維持管理費 | 約862万円／年  　　道路部：33万円/千ｍ2・年（過去5年府内実績より算出）  　　高速道路交差部：240万円/年（道路部：102万円/年 + ポンプ費：138万円/年） | |
| 関連事業 | 都市計画道路　豊中岸部線（岸部南工区）　街路事業  都市計画道路　十三高槻線（正雀工区）　街路事業  佐井寺西土地区画整理事業　事業中 | |

２ 事業の必要性等に関する視点

|  |  |
| --- | --- |
| 上位計画等に  おける位置付け | ・大阪府都市整備中期計画（R3.3改訂）：着手として位置づけ  ・吹田市都市計画マスタープラン（H27.3）：広域的なネットワークの形成をめざし、地域軸として機能の充実をめざす、として位置づけ |
| 優先度 | ・北摂地域の重要な幹線道路である本路線は、重要物流道路である国道423号（新御堂筋）から都市計画道路十三高槻線までを順次整備を進めており、残す本事業区間を整備することで、広域的な道路ネットワークが形成され、交通渋滞の解消や物流の効率化、地域の活性化に寄与すること。  ・広域緊急交通路に指定されている国道423号（新御堂筋）及び大阪高槻京都線、指定予定である都市計画道路十三高槻線を接続することにより、広域的な道路ネットワークの形成及び防災機能の強化に寄与すること。また、吹田市災害医療センターとして指定されている市立吹田市民病院などへのアクセスが向上すること。  ・地元市より早期整備要望があること。  以上より本事業の優先度は高い。 |
| 事業を巡る  社会経済情勢等 | 〔北大阪健康医療都市：健都のまちづくり〕  ・平成30年12月に吹田市民病院が移転  ・令和元年７月に国立循環器病研究センターが移転  〔周辺の防災関連施設〕  ・柴金山公園は、吹田市の広域避難地に指定  ・豊中岸部線の整備済区間は、吹田市の地域緊急交通路に指定  〔周辺道路の整備状況〕  ・十三高槻線（正雀工区）　事業中（令和5年度本線開通予定）  ・豊中岸部線（岸部南工区）　事業中  ・佐井寺西土地区画整理事業　事業中（令和12年度工事完成予定）  【周辺道路の交通量と混雑度/R3全国道路・街路交通情勢調査】  　主要地方道大阪高槻京都線 ：15,849台/24H（混雑度：1.30）  　主要地方道大阪高槻京都線（十三高槻線）： 15,115台/24H（混雑度：1.11）  　主要地方道茨木摂津線　　　　 ：22,460台/24H（混雑度：1.28）  　主要地方道大阪中央環状線（旧）： 12,817台/24H（混雑度：0.93）  　一般府道豊中摂津線　　　 ：14,345台/24H（混雑度：1.11）  　一般国道423号　　 　　 ：87,142台/24H（混雑度：0.84） |
| 地元の協力体制等 | ・地元市より早期整備の要望がある。 |
| 事業の投資効果  ＜費用便益分析＞  または  ＜代替指標＞ | 【効果項目】  ・走行時間短縮便益　430.1億円（基準年における現在価値）  ・走行経費減少便益　 31.4億円（基準年における現在価値）  ・交通事故減少便益　 2.5億円（基準年における現在価値）  【分析結果】  ・B/C＝3.41　B＝464.1億円　C＝136.2億円  【算出方法】  ・国土交通省「費用便益分析マニュアル」（令和4年2月）により算出  ・H27全国道路・街路交通情勢調査に基づくR22年（2040年）将来交通推計値により算出  【受益者】  ・道路利用者  ・地元住民 |
| 事業効果の  定性的分析  （安全・安心、活力、  快適性等の有効性） | 【活力】  ・重要物流道路である国道423号と、大阪高槻京都線及び十三高槻線といった幹線道路が結ばれることで、交通ネットワークが強化され、物流の効率化や地域の活性化に寄与する。  【安全・安心】  ・無電柱化することで、地震や台風等の自然災害時における電柱倒壊による、道路の寸断を回避できる。  ・広域緊急交通路を接続することで防災機能が強化される。  ・吹田市災害医療センターとして指定されている市立吹田市民病院などへのアクセス性が向上し、防災機能が強化される。  【快適性】  ・周辺道路の渋滞緩和に寄与する。  ・無電柱化により、良好な景観が形成される。  【受益者】  ・道路利用者  ・地元住民 |

３ 事業の進捗の見込みの視点

|  |  |
| --- | --- |
| 事業段階ごとの  進捗予定と効果 | 令和6年(2024年)度～令和8年(2026年)度：測量・設計  令和9年(2027年)度～令和13年(2031年)度：用地買収  令和9年(2027年)度～令和15年(2033年)度：工事 |
| 完成予定年度 | 令和15年(2033年)度 |

４ コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

|  |  |
| --- | --- |
| コスト縮減や  代替手法との  比較検討 | 【コスト縮減】  ・電線共同溝の整備にあたり、①浅層埋設方式を活用することによる掘削土量の削減、支障物移設の減少によるコスト縮減方法や、②管路部へＦＥＰ管を採用することによる材料費の削減、施工の省力化によるコスト縮減方法の導入を検討していく。  【代替案立案等の可能性】  ・本事業区間は、都市計画決定に基づき実施するものである。  ・本事業の前後区間が既に整備済もしくは整備中であるため、本事業によりネットワークの強化を図ることができる。  以上のことから、原案が適切である。 |

５ 特記事項

|  |  |
| --- | --- |
| 自然環境等への  影響とその対策 | ・周辺道路の渋滞が緩和され、大気質への負荷物質排出量の抑制に寄与する。  ・周辺は、市街地が形成されているため、生活環境への影響については、施工時には低騒音型の建設機械を用いるなど、近隣住民への影響を少なくするように配慮する。 |
| その他特記事項 | － |

６ 対応方針（原案）

|  |  |
| --- | --- |
| 対応方針  （原案） | ○事業実施  ＜判断の理由＞  ・重北摂地域の重要な幹線道路である本路線は、重要物流道路である国道423号（新御堂筋）から都市計画道路十三高槻線までを順次整備を進めており、残す本事業区間を整備することで、広域的な道路ネットワークが形成され、交通渋滞の解消や物流の効率化、地域の活性化に寄与すること。  ・広域緊急交通路に指定されている国道423号（新御堂筋）及び大阪高槻京都線、指定予定である都市計画道路十三高槻線を接続することにより、広域的な道路ネットワークの形成及び防災機能の強化に寄与すること。また、吹田市災害医療センターとして指定されている市立吹田市民病院などへのアクセスが向上すること。  ・地元市より早期整備の要望があること。  以上の理由により、本事業を実施する。 |